

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
専門学校 文化デザイナー学院	昭和51年4月1日	飯村 雅史	〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 リリー文化学園	昭和51年1月22日	理事長 大久保 博之	〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820		
目 的	本学科は、広告デザイン業界においてデザイナーとして就職並びに活躍できる人材の育成を目指し、グラフィックデザインやWebデザイン、雑誌編集や映像デザイン等の分野に関して専門的な教育を行うことを目的とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
産業デザイン専門課程	広告プロモーションデザイン学科	3年(昼)	3000単位時間 (又は単位)	平成20年文部科学大臣告示第12号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	660単位時間 (又は単位)	2340単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人	110人	3人	17人	20人	
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 総合評価 A.B.C.D(D=単位不可) 部分評価を総合して4段階で評価する。		
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月25日～8月20日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月12日	卒業・進級条件	①出欠は学期内全科目の規定回数を全て満たしている。 ②課題は学期内の規定課題作品を全て提出し、その評価は60点以上である。 ③試験は学期末に行われる期末試験ですべての科目が60点以上である。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) 専任教員が担当する授業のキャリアデザインでは、毎回同じ者が担当する。 また、試験・課題・出欠・就職・学校生活についてはそれぞれの担当がいる。 ■長期欠席者への指導等の対応 電話確認、保護者への連絡、面談など	課外活動	■課外活動の種類 ・キャンドルナイト・茨城県近代美術館ワークショップ・京成通り商店会黄門まつりワークショップ・チョコレートフェスティバル・mito☆ファッションショー・水戸まちなかフェスティバル ■サークル活動 (有・無)		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 販売系・販売促進/デザイン事務所・印刷会社/企業内広報企画/写真</p> <p>■就職率 97%</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>カラーコーディネーター検定/ レタリング技能検定/Illustrator orクリエイター能力認定試験/Photo shopクリエイター能力認定試験/Web クリエイター能力認定試験/Webデザ イナー検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 9名 ■中退率 7.6%</p> <p>平成25年4月1日在学者 119名 (平成25年4月入学者を含む) 平成26年3月31日在学者 110名 (平成26年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 ①経済的な問題での就学困難 ②方向性や適正など進路に対する自信の喪失 ③病気による社会生活・就学困難 ④家庭の事情 (引越など)</p> <p>■中退防止のための取組 対策として、欠席率の段階によって教職員による面談をしている。1段階指導として担当の面接、2段階指導として主任以上の職員による面接を実施している。また、課題の提出状況も把握し適切に指導出来るように、全ての規定課題 (提出義務課題) については教務提出としている。経済的問題に対しても細かく配慮し、保護者との面談を行っている。奨学金や国の教育ローンなどを利用することによる資金計画について相談し、就学困難を回避している。また、昨今増えつつある精神的な病気についても出来る限り配慮することとし、安心して就学出来るように細かい面接等をしている。これらの細部にわたる「学生に対する配慮」が退学率を低くしており、「愛情をもって接する」という一人ひとりのスタッフのスピリッツにより支えられている。</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: www.bunka-gakuen.ac.jp</p>		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、企業が求める人材ニーズや地域の産業振興の方向性を把握し、職業教育を向上させるために、企業・団体と連携して授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を行うなど、企業等の要請を考慮した実践的かつ専門的な教育課程の編成を行うこととし、各学科の関連業界の動向や地域の産業振興に関して知見を有する業界団体の役職員や、実務に関する知識、技術、技能に関して知見を有する企業の役職員の方々を委員とする教育課程編成委員会を設置し、様々な意見を活用して教育課程を編成することを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月 21 日現在

名 前	所 属
倉田 稔之	茨城デザイン振興協議会
坂 大樹	株式会社 スタジオサカ
椿本 学	いばらき印刷株式会社
小室 忠男	株式会社 水戸京成百貨店
佐久間 一能	株式会社 アーペ
杉浦 時彦	株式会社 アットワーク
桐ヶ谷 るみ子	茨城インテリアコーディネーター協会
小川 憲一	茨城県建築士事務所協会
横須賀 弘	有限会社 コムスペースデザイン
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
塙 麻美	専門学校 文化デザイナー学院

(開催日時)

第1回 平成 25 年 10 月 21 日 16 : 00～18 : 00

第2回 平成 26 年 2 月 10 日 15 : 00～17 : 30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は教育方針として、「職業実践主義」「プロセス・表現主義」「デザインマインド教育」の三つを掲げている。特にデザインプロセスの実践的学習として「情報収集」→「分析」→「企画」→「デザイン制作」→「プレゼンテーション」までの流れを体験的に学習することは、上記の教育方針を総合的に理解することができると思う。

そのために、地域においてデザインを必要とする企業・団体・自治体と連携して学生に「現実的テーマ」を与え、担当講師の指導の下、一連のデザインプロセスについて質の高いデザイン力を習得することを目的として実習・演習を行うことを基本方針とする。

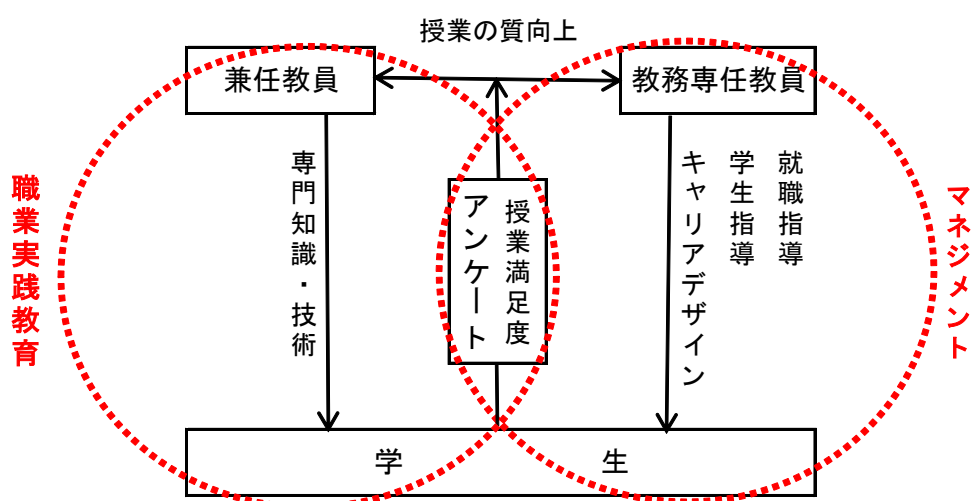
科目名	科目概要	連携企業等
グラフィックデザインⅠ	デザインワークに必要な基礎知識・基本的なレイアウトを中心に、デザイン作業の流れをトレーニングする。	スタジオチャプターハウス
グラフィックデザインⅡ	写真やコピーなど様々な素材を融合させたイメージを、コンセプトに基づいてグラフィックデザインとして完成させる。	行方市
デザインコンセプトⅢ	メディアの特性を理解し、ユニット形式で調査・分析・提案というプロセスを実践することで、企画力と人間力を高める。	水戸市政策研究会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「プロによる実践教育」について

本校は、下記図のように、実務に関する知識、技術、技能に関しては「プロの兼任教員」が教授し、学生に対する様々な指導、マネジメントに関しては教務専任教員が担当している。



デザインは、教科書的にまとめられる領域は少なく実務実習型の授業がほとんどである。

従って、授業を受け持つには、例えば、広告デザインの分野では、デザイン構成やDTP技術はグラフィックデザイナーが教え、カラーコーディネートはその有資格者が教え、Webデザインは、Webデザイナーが教えている。インテリアデザインの分野では、設計製図は一級建築士が教え、インテリアコーディネーターはインテリアコーディネーターの有資格者が教え、3DCAD(3次元パース)は建築士の中でも、その技術を習得したプロが教える。また、エクステリアデザインに関しては、造園業にも精通したプロが教えるという具合である。また、本校のファッションコーディネーターは流通小売業の分野を学ぶもので、商品知識、接客、仕入れ、ディスプレイ、経理、はもとより、ネイルアート、フラワーコーディネート、ラッピング、雑貨・ファッション小物制作等、それぞれの専門的授業に対して、その分野のプロが授業を受け持つことが必要になる。

この様な観点から、本校は、ほとんどの授業においてその分野で活躍するプロが授業を担当するため、研修・研究に関しては、プロが行う現場の業務を通して常に先端の技術研修が行なわれているものとする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月 30 日現在

名 前	所 属
中山 宇生	茨城県デザインセンター
岡田 寛和	株式会社光和印刷
竹越 萌野	株式会社藤代範雄デザイン事務所
山田 行雄	水戸ステーション開発株式会社
青木 唯	アスクウォーク有限会社
住谷 強生	株式会社ジェイディーアールスミヤ
桐ヶ谷 るみ子	茨城インテリアコーディネーター協会
石川 忠幸	株式会社棟匠
阿久津 裕司	株式会社根本建築設計事務所
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
埴 麻美	専門学校 文化デザイナー学院

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程広告プロモーションデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デジタルイラストレーション	Adobe Photoshop の基本操作を習得し、ビットマップ画像の概念や画像加工技術の基礎を学ぶ。	1通	120	4		○	
○			平面構成	グラフィックデザインの基礎となる2次元的な形態認識とレイアウト(配置)感覚、平面表現技法のトレーニング。	1前	60	2		○	
○			デザインコンセプトI	デザインに必要な「考える」ことの手順や方法をトレーニングし、コンセプトの重要性を理解する。	1通	60	4	○		
○			デザイン発想	デザインの基礎となるものづくりに対する意識を高め、発想力を身に付ける。デザインをつくり始める為に必要な授業	1通	120	4		○	
○			ビジュアルデザイン	感性をトレーニングし、物事の構造を分析理解することで創作を導く考え方を学び、表現する技術へと繋げる。	1通	120	4		○	△
○			色彩理論	色彩心理に基づく科学的な配色計画の基礎知識、「カラーコーディネーター検定試験」対応授業	1前	30	2	○		
○			レタリング	書体(デザインのための文字)の形態認識とレイアウト感覚のトレーニング・「レタリング技能検定」対応授業	1通	60	2		○	
○			PCリテラシー	基本的なPCの操作や知識と共に、一般文書作成(Word・Excelなど)の基礎について学ぶ。また、画像の解像度についてやプリントの出力や設定についても学ぶ。	1通	60	2		○	
○			DTP演習	Adobe Illustrator の基本操作を習得し、印刷のプロセスを踏まえた紙媒体・印刷データの基礎知識を学ぶ。	1通	120	4		○	
合計										
				科目	単位時間(単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程広告プロモーションデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			デッサンⅠ	デッサンの基礎技術を身につけるとともに、物を見てその形態を認識する力を養う。また色巾を学ぶ技法を鉛筆の筆圧を買える事により技術を身に付ける。	1 通	120	4		○	
○			平面・立体構成	平面表現技法を発展させ、3次元的な形態認識と立体表現まで幅を広げた表現技法を学ぶ。パースを学ぶ事により、表現力の的確さを身に付ける。	1 後	60	2		○	
○			色彩理論特講	カラーコーディネーター検定試験3級合格に向けた特別講義	1 後	30	2	○		
○			デザインの配色計画	色彩理論や目的に基づく配色計画を様々なデザインに応用することを実践的に学ぶ。パッケージデザインなどでは色がどの様に効果を発生させるかを学ぶ。	1 後	60	2	○		
○			キャリアデザインⅠ	自己のアイデンティティを再確認し、将来の専門分野での適性を考える特別年間プログラム。	1 通	60	4	○		
○			ポートフォリオ	クオリティーの高い作品制作を目指し、作品集を整備する事で就職を勝ちとる。	1 後				○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程広告プロモーションデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			文章構成	自分の考えを論理的にまとめ、説得力のあるプレゼンテーションなどができる文章力を身につける。	2前	30	2	○		
○			デザインコンセプトⅡ	デザイン表現全体の基本となるコンセプト(考え方)と発想を学び、プレゼンテーションまで実践的に学ぶ。	2通	120	8	○		△
	○		広告イラストレーションⅠ	表現力の応用として、クライアントを意識し訴求力のある広報を可能にするイラストレーションを考える。	2通	120	4		○	
	○		映像編集	クライアントの要望点を理解し、映像を駆使して効果的にコンテンツに盛り込む力を養う。	2通	120	4		○	
	○		写真・雑誌構成	グループ制作による雑誌媒体のコンセプトワークや制作のプロセスを通して、雑誌の運営全体を捉える。	2通	120	4		○	△
○			DTP演習応用	雑誌などページ物全般の基礎知識と、Adobe Indesign などのアプリケーションによる制作のプロセスを学ぶ。	2通	60	2		○	
○			写真構成	グラフィックデザインで重要な要素となる写真についての基本をマスターし、撮影から加工技術まで習得する。	2通	60	2		○	
○			デザインスタイル演習	デザイン史におけるデザインの源流に触れ、演習を通して構成力・発想力をつける。デザインの知識を広げる為の授業でもある。	2通	120	4		○	
○			デッサンⅡ	より高いデッサン力を身につけると共に、構図やレイアウトなどデザインを意識した応用デッサンを学ぶ。着彩により技法習得により表現力の巾を広くする。	2通	120	4		○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程広告プロモーションデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			グラフィックデザインⅡ	写真やコピーなど様々な素材を融合させたイメージを、コンセプトに基づいてグラフィックデザインとして完成させる。	2通	120	4		○	△
○			WEBレイアウト	Web ページ制作に必要なHTML と CSS の言語を学び、レイアウトや基礎知識と、効果的な表現方法を学ぶ。	2通	120	4		○	
○			コピーライティング	デザインのプロセスを考えながらものごとの本質を捉え、訴求力のあるコピーを導き出す手法を学ぶ。	2後	30	2	○		
○			キャリアデザインⅡ	社会の中でのアイデンティティを再発見し、将来の専門分野での進路への手がかりを得る。	2通	60	4	○		
○			ポートフォリオ	クオリティーの高い作品制作を目指し、作品集を整備する事で就職を勝ちとる。	2通				○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程広告プロモーションデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
	○		セールスプロモーション	企業の経営を意識した形で企画を練り、販売を促進させる具体物としてのデザインをどの様に活用させ繋げるかを考える。	3通	120	4		○	
○			ユニットワーカー	本学科の特徴を捉えると、コミュニケーション力が求められ、制作の現場ではグループでの制作で進められる。それらを学生の時から経験する事によりデザインの制作過程を学ぶ。	3通	60	2		○	
	○		映像編集	クライアントの要望点を理解し、映像を駆使して効果的にコンテンツに盛り込む力を養う。	3通	120	4		○	
	○		広告イラストレーションⅡ	表現力の応用として、クライアントを意識し訴求力のある広報を可能にするイラストレーションを考える。	3通	120	4		○	
	○		写真・雑誌構成	グループ制作による雑誌媒体のコンセプトワークや制作のプロセスを通して、雑誌の運営全体を捉える。	3通	120	4		○	
○			デザインコンセプトⅢ	メディアの特性を理解し、ユニット形式で調査・分析・提案というプロセスを実践することで、企画力と人間力を高める。	3通	120	8	○		△
○			グラフィックデザイン実践	デザインのプロセスを踏み、企画と表現が訴求力を持つグラフィックデザインの研究と、得意とする表現方法を研究する。	3通	120	4		○	△
○			WEBデザイン	基本的なページ構成の知識とWebの特性を理解したうえで、ビジュアル化された企画書作成・提案ができる力をつける。	3通	120	4		○	
○			WEBコンテンツ	Webで使用されるFlashやDreamweaverの技法を学ぶ。また近年多用化されているSNSとの連動をデザインと波及効果から考える。	3通	120	4		○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程広告プロモーションデザイン学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			キャリアデザインⅢ	社会人としての意識やマナーを身に付け、デザイナーとしての将来計画を考える。	3 通	60	4	○		
合計					38科目	3000単位時間 (120単位)				